

# 介護

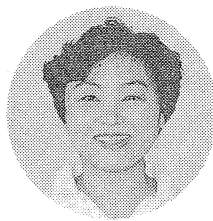
## の現場から

### その32

新たな介護サービスの  
もとで

平成12年4月、介護保  
険制度がスタートしまし  
た。自治体による措置入  
所から利用者との契約に  
よる介護サービスの提供  
へとという大きな変革でし  
た。

この変革によって、利  
用者が施設を選ぶ時代が  
訪れ、「サービスの質」が  
競われるようになったの  
です。それは、従業員の



サービスに対する姿勢が  
問われることも意味しま  
す。私たちは、利用者と  
一緒に喜び合える「サー  
ビスの提供」を求めて、  
従業員の研修を強化する  
ことにいたしました。

幸い、あつみ温泉の萬  
国屋さんの協力により、  
ホテル業界の接客サービ  
スについて多くの従業員  
が学ぶ機会を与えていた  
だきました。大変ありが  
たく思っております。2  
泊3日、萬国屋さんの従

佐藤佐保子

理事長  
常務理事  
幸園 幸池

## 市街地の施設として



業員と同じようにフロン  
ト、皿洗い、客室接待係  
まで、サービスの経験を  
踏んだことが介護の現場  
に活かされ、さらに自ら  
の進歩のきっかけになっ  
ております。一例を挙げ  
ると、介護福祉士資格の  
取得率が63・6%と、高  
い数字になりました。今  
後一層の自己研さんを期  
待しています。

地域社会とともに  
社会福祉法人は、地域  
社会の一員として地域の  
中で活動してこそ地域社

## 地域とかがわる

会に助けられ、認められ  
ると思えます。それがで  
きて初めて、施設機能を  
地域に提供することが可  
能になるのではないでし  
ょうか。それを念頭に一  
幸会は少しずつ地域活動  
を増やしてきています。

そこで、住み慣れた場所  
で引き続き生活してい  
たく手助けとして施設機  
能を開放しました。

平成17年2月から公衆  
浴場まで通うのが困難な  
高齢者の方に週2回、入  
浴していただいています。

昔は頻繁にあった洪水や、  
川の流れの変化などを作  
業中に聞き、先人の苦労  
をしのびながら、早朝の  
雑草処理に汗を流してい  
ます。

1つは入浴サービスで  
す。周囲にあった銭湯が  
閉鎖され、「浴場が遠方と  
なり、特に冬季に不便で  
ある」という在宅高齢者  
の方の声が民生委員を通  
して聞こえてきました。

2つ目は鶴岡市が内川  
をきれいにするために毎  
年7月には従業員と地域住民と一緒に内川の清  
掃を行っています

3つ目に子どもたちの  
登下校の交通安全を願う  
このコーナーは第2、  
第4水曜日付に掲載予定

交協本町三丁目分会の街  
頭指導に共鳴し、従業員  
自ら交通安全に対する意  
識を高め、啓蒙していく  
ことに取り組んでいます。  
平成19年度から従業員が  
2人ずつ、早朝立哨活動  
に参加しています。小学  
生たちの元気のよいあい  
さつに朝から心なごみ、  
自身の交通安全にも気を  
つけるようになっていま  
す。



毎年7月には従業員と地域住民と一緒に内川の清掃を行っています